

CT透視ガイド下肺生検においてステップワイズ法とリアルタイム法の有用性や安全性に関する研究

1. 研究の対象

2017年3月～2019年4月に当院でCT透視ガイド下肺生検を受けられた方

2. 研究目的・方法

CT透視ガイド下肺生検は肺腫瘍の病理学的診断において非常に重要な検査です。CT透視ガイド下肺生検の方法としてはステップワイズ法とリアルタイム法があります。患者や術者の被曝の低減のためにステップワイズ法での方法が推奨されますが、小さな病変や息止め不良の患者ではリアルタイム法が有用な方法となります。本研究はステップワイズ法とリアルタイム法の有用性や安全性を比較評価することが目的です。研究期間は倫理委員会承認日から2021年3月31日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CT透視ガイド下肺生検においてステップワイズ法とリアルタイム法の有用性や安全性を比較検討します。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(CTなど)、病理所見、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など)です。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

高知大学医学部 放射線科 山上卓士

呉医療センター中国がんセンター 放射線診断科 梶原賢司

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 放射線科

担当者：教授 山上卓士

連絡先電話番号：088-880-2367

研究責任者：

高知大学医学部放射線医学講座 山上卓士

研究代表者：

高知大学医学部放射線医学講座 山上卓士

-----以上